

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名	一般国道152号 ^{わだ} 和田バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	長野県
起終点	自：長野県飯田市南信濃押出	至：長野県飯田市南信濃梶谷	延長	4.1 km	
事業概要 一般国道152号は、長野県上田市から静岡県浜松市に至る幹線道路である。和田バイパスは幅員狭小・線形不良区間の解消を目的とした延長4.1kmのバイパスである。					
H10年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H11年度用地着手	H12年度工事着手		
全体事業費	61億円	事業進捗率	43%	供用済延長	1.1 km
計画交通量	2,700台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 34/66 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 94/94 億円	基準年 平成19年	
	(残事業)	事業費：30/61 億円 維持管理費：4.8/4.8 億円	走行時間短縮便益：78/78 億円 走行経費減少便益：16/16 億円 交通事故減少便益：-0.10/-0.10 億円		
事業の効果等 ・幅員狭小区間の解消 ・防災対策及び危機管理の充実					
関係する地方公共団体等の意見 ・国道152号改良促進期成同盟会からの要望 ・飯田市南信濃地区からの要望					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・道の駅「遠山郷」かぐらの湯が開業。年間10万人の観光客増加					
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・1工区（飯田市南信濃押出～同市南信濃下市場）L=2.1kmはH17年度までに約1.1kmを供用し、残区間約1kmについて用地及び工事推進中。 ・2工区（飯田市南信濃下市場～同市南信濃梶谷）L=2.0kmは調査中。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・平成20年度から2工区の用地買収に着手。					
施設の構造や工法の変更等 ・集落連たん区間外（約2km）の歩道計画を見直し、コスト縮減を図る。					
対応方針	見直し継続				
対応方針決定の理由	・以上の状況を勘案すれば、残工事を実施することにより地域の課題が解消される。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。